

最近の家計消費の特徴的な動き

家計調査 家計収支編・二人以上の世帯 平成26年(2014年)10～12月期平均結果から

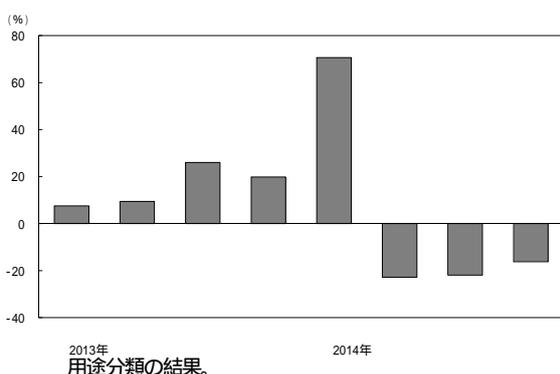
1 消費税率引上げによる駆け込み需要とその後の動き

2014年4月の消費税率引上げによる駆け込み需要の反動の影響を受けたとみられる主な項目について、10～12月期においても、前年同期に比べて減少は続くものの前期に比べ減少幅が縮小したこと、または増加に転じたことなどから、全般的には、緩やかな回復の動きがみられる。

家庭用耐久財

電気洗濯機、エアコンディショナなどの家庭用耐久財の2014年10～12月期の支出金額は、前年同期に比べ実質16.2%の減少と、4～6月期以降3期連続の実質減少となったが、減少幅は前期(同21.9%減少)に比べ5.7ポイント縮小した(図1)。

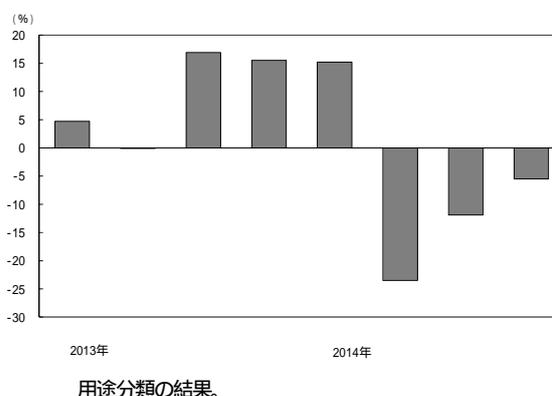
図1 家庭用耐久財の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



身の回り用品

装身具、腕時計などの身の回り用品の2014年10～12月期の支出金額は、前年同期に比べ実質5.5%の減少と、4～6月期以降3期連続の実質減少となったが、減少幅は2期連続して縮小した(図2)。

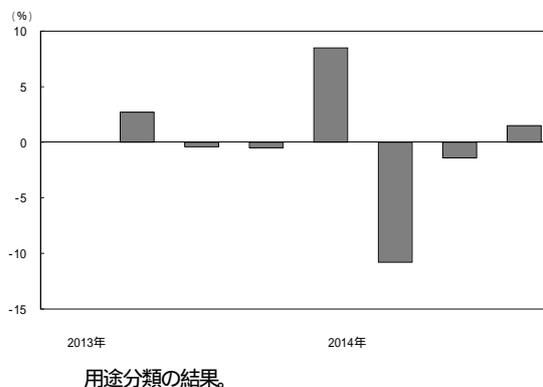
図2 身の回り用品の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



油脂・調味料

2014年10～12月期の油脂・調味料の支出金額は、前年同期に比べ実質1.5%の増加と、1～3月期以来3期ぶりの実質増加となった(図3)。

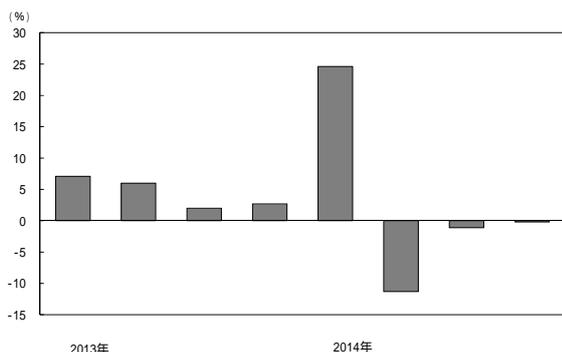
図3 油脂・調味料の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



家事用消耗品

トイレトペーパーなどの家事用消耗品の2014年10～12月期の支出金額は、前年同期に比べ実質0.2%の減少と、ほぼ同水準となった(図4)。

図4 家事用消耗品の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移

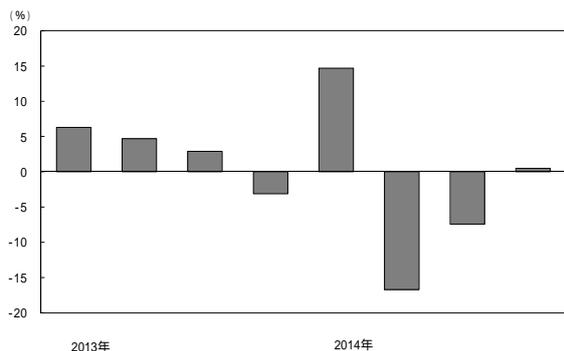


用途分類の結果。

理美容用品

シャンプー、歯磨きなどの理美容用品の2014年10～12月期の支出金額は、前年同期に比べ実質0.5%の増加と、1～3月期以来3期ぶりの実質増加となった(図5)。

図5 理美容用品の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



用途分類の結果。

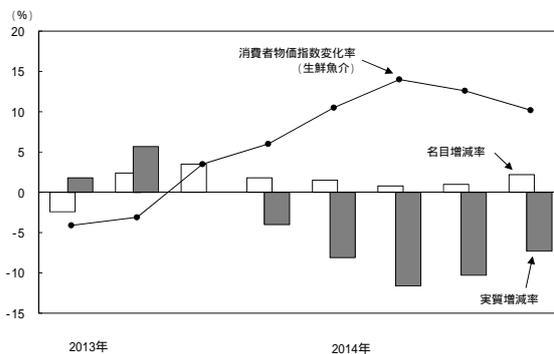
2 価格変動に伴う家計消費の動き

生鮮魚介及び生鮮野菜

生鮮魚介は、円安による輸入価格の上昇や不漁による水揚げ量の減少などにより、価格の高騰が続いている。2014年10～12月期の生鮮魚介の支出金額は、こうした価格高騰に伴う買い控えの影響もあり、前年同期に比べ実質7.3%の減少と、2013年10～12月期以降5期連続の実質減少となった(図6)。

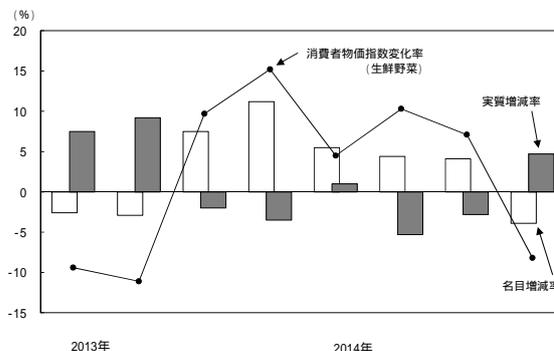
一方、生鮮野菜では価格の上昇が続いていたが、2014年10～12月期は低下に転じたこともあり、支出金額は前年同期に比べ実質4.7%の増加と、1～3月期以来3期ぶりの実質増加となった(図7)。

図6 生鮮魚介の四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移



品目分類の結果を用いて本資料用に算出。

図7 生鮮野菜の四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移



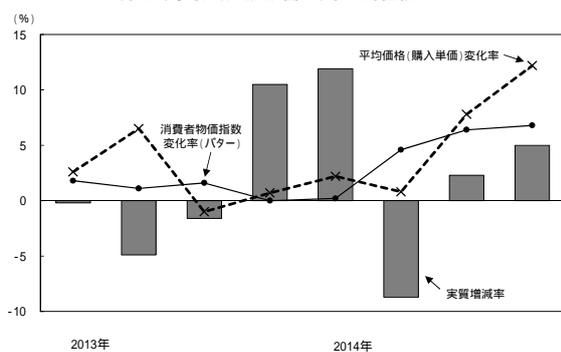
品目分類の結果を用いて本資料用に算出。

バター

バターは、酪農家の減少や前年の猛暑により、バターの原料となる生乳の生産量が減少したことなどから、品薄状態となっている。

2014年10～12月期のバターの支出金額は、前年同期に比べ実質5.0%の増加となっているが、平均価格（購入単価）は物価の上昇を上回る高い伸びとなっている。これは、バターが品薄状態であることにより、通常より高価なバターを購入せざるを得なかった世帯が増えたことによるものと考えられる（図8）。

図8 バターの四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



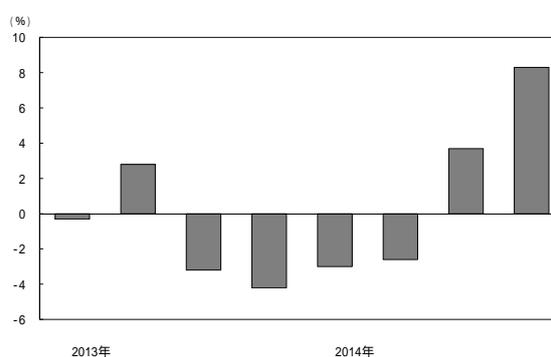
品目分類の結果を用いて本資料用に算出。

3 その他

医科診療代

2014年10～12月期の医科診療代の支出金額は、前年よりもインフルエンザの流行が早かったことなどもあり、前年同期に比べ実質8.3%の増加と、7～9月期以降2期連続の実質増加となった（図9）。

図9 医科診療代の四半期別支出金額の対前年同期実質増減率の推移



品目分類の結果を用いて本資料用に算出。

四半期結果から作成している「最近の家計消費の特征的な動き」の更新は、本資料をもって終了させていただきます。

ご利用いただきまして、ありがとうございました。